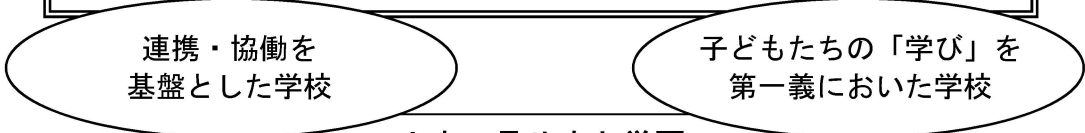


小中一貫やまと学園「目指す学園像」の構成

- 教育理念 連携と協働で育む 光の教育
- 教育目標 夢と希望にあふれ 未来へ輝く『光っ子』の育成



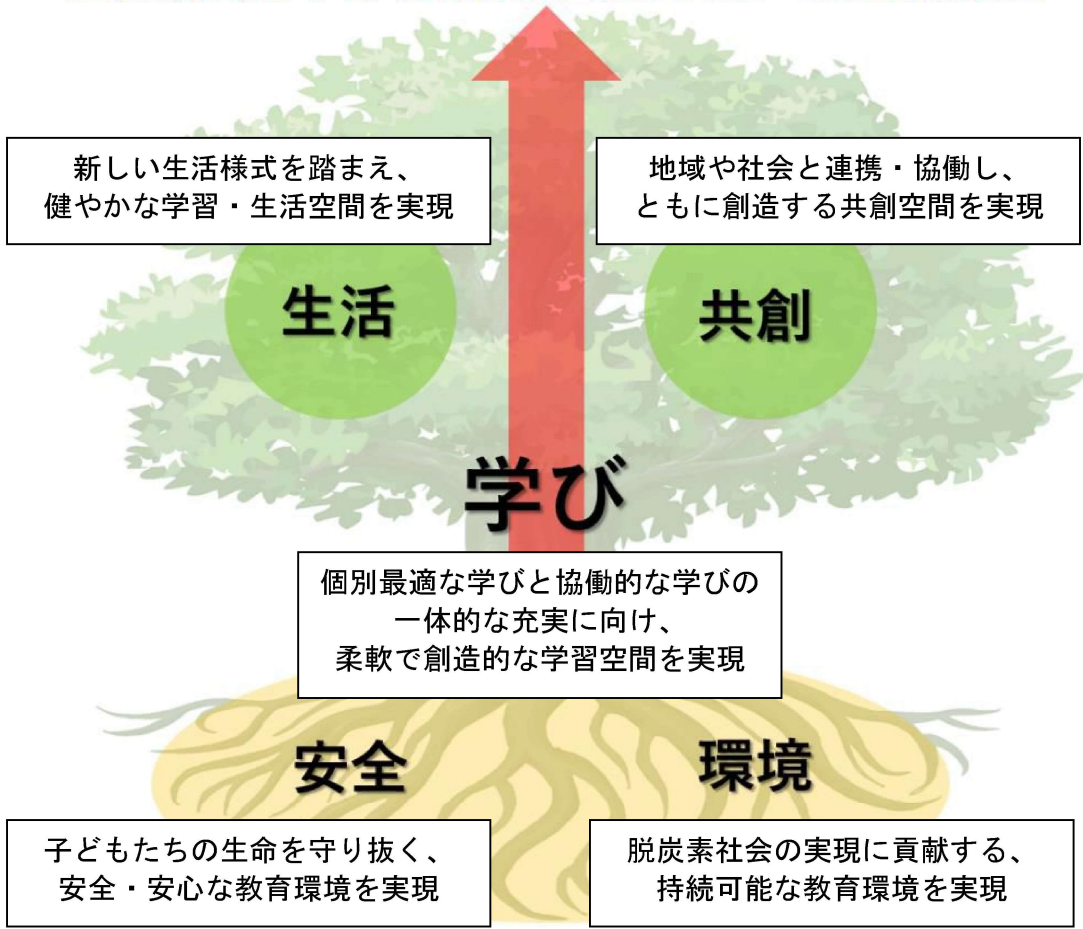
小中一貫やまと学園

- 教育目標 確かな学びと、豊かな人間関係を互いに培い、未来を担う力を備えた子どもの育成
- 15歳の大和っ子像 大和を愛し、未来にはばたく大和っ子
 - 自分が好き、人が好き、大和が大好きな子ども
 - 感謝の気持ちを持ち、さわやかなあいさつができる子ども
 - 夢や希望を持ち、努力を惜しまない子ども

子どもは通いたい!!
保護者は通わせたい!!
地域は集いたい!!
教師は学び、教えたい!!
ワクワクする学園

子どもたち、教職員、
地域の人が互いの存在を
尊重し、希望をもって
しっかり学べる学園

全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



やまと学園小中一貫教育

教育目標: 確かな学びと、豊かな人間関係を互いに培い、

未来を担う力を備えた子ども育成

研究課題 小学校と中学校の「学び」のつながり

～確かな学びと豊かな人間関係の確立をめざした小中一貫教育～



15歳の大和っ子像

大和を愛し、未来にはばたく大和っ子

- 自分が好き、人が好き、大和が大好きな子ども
- 感謝の気持ちを持ち、さわやかなあいさつができる子ども
- 夢や希望を持ち、努力を惜しまない子ども

やまと学園小中一貫教育の充実をめざす3つの視点

地域とともに小中一貫教育の充実をめざすために

- ① 9年間の「学び」のイメージの共有
- ② 適時性と連続性の理解
- ③ 協働型実践

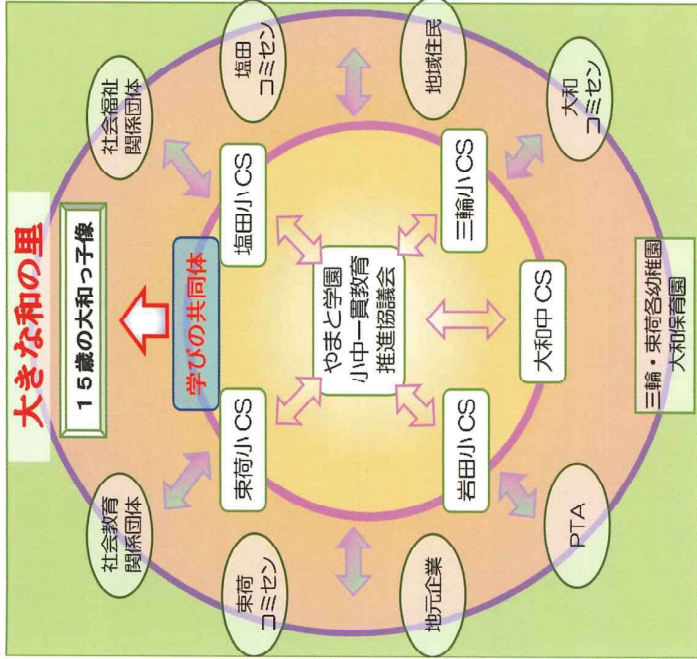
コミュニティ・スクールを活かす3つの視点

各小中学校のコミュニティの機能を活かして参画するために

- ① すべては子どもたちの未来のため
- ② 子どもと大人の「つながり」
- ③ Win-Winの関係性

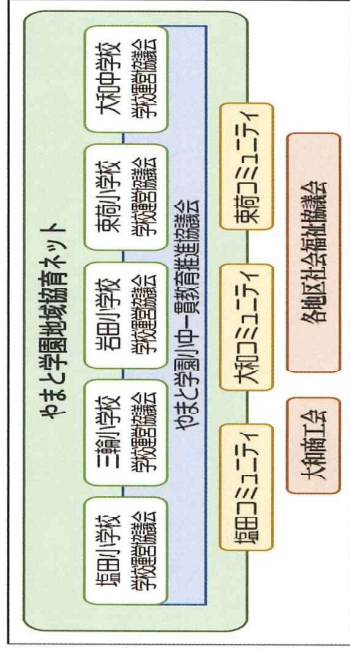
大きな和の里

～小中一貫教育と大和地域との文化の融合をめざして～

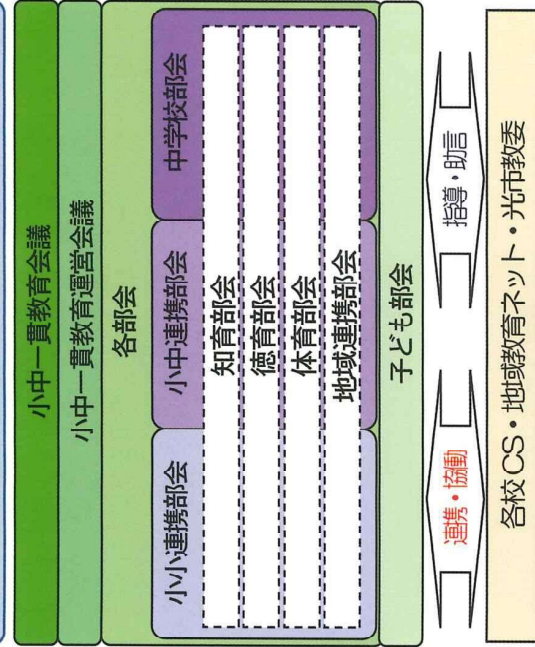


やまと学園地域協育ネット

大和地域総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援し各校の取組の更なる充実を図ることで保護者や地域がやまと学園の教育に対する意識を高める



やまと学園小中一貫教育推進協議会



各会議・部会の取組

小中一貫教育会議 (年2回)

小中連携教育に関する基本構想、事業及び研修の計画等について決定する。

教育運営会議 (年3回)

春の全体会、夏の熟議と、秋の研究発表会の進め方について、具体的な内容を協議し決定する。

各部会 (年3回)

小中一貫教育の取組について検討し実践の具体策を決定し実践を踏まえた検証を行う。

知育部会・徳育部会・体育部会および地域連携部会を組織する。

子ども部会 (年1回)

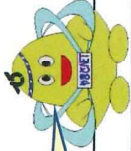
15歳の大和っ子像の実現に向け、子どもたちの取組を提案する。

定期の研修会

春季研修会 (体験)	夏季研修会 (鑑)	秋季研修会 (閉修)
研修の方向性に各部会で熟議を 関する共通理解を行い、具体的な取 組の共有	各部会で熟議を 行い、具体的な取 組の協議	研究授業での検 証と協議、見直し

やまと学園小中一貫教育・地域連携協働カリキュラム

地域の支援を得て進める各校の特色を
いかした取組です。



幼稚園	前期			中期			後期			
	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	
塩田小	いざいざサロン ときどきまちたんけん サツマイモ苗植え	ふれあい草球 石城太鼓	塩田の民話 ぼくらはジュニア福祉員	ふれあい卓球 石城山登山	ふれ合い卓球 塩田ふれあい祭り	ふれあい給食 安全マップ作り	見守り隊	抹茶体験 職業講話	浴衣着付け教室 職場体験	菊栽培 保育実習
三輪小	三輪小遊祭に招待しよう	三輪小遊祭	三輪校区の自慢 されいな歌声で歌おう	点字を学ぼう 大和保育園と合同避難訓練	番組をつくろう 命を守る(赤十字救命救急)	民生委員とは 専門家に学ぼう(着衣水泳・陸上)	健康について考える	高年齢者声掛け訓練	運動に親しむ交流会	里帰りあいざつ運動
岩田小	岩田っ子まつり 焼き芋パーティー	三輪小遊祭 まほろば訪問	まほろば訪問 七輪体験	まほろば訪問 岩田小歴史探訪	田植え&どろんご会 竹細工	しめ縄・門松づくり 岩田地区大感謝祭	体育祭 文化祭	地域貢献活動・母校清掃	クリーン光	ハートフルデイ人権参観日
東荷小	伊藤公園で遊ぼう 大和苑訪問	キラキラタウンつかり あんぜん・あんしん登下校	そうめん流し もちつき	伊藤公を知ろう 福祉について	めざせ伊藤公マイスター 自分や地域の将来の姿	納涼盆踊り大会 秋の大運動会	東荷ふれあい文化祭	塩田ふれあい祭	東荷ふれあい文化祭	大和コミュニティ文化祭

各校の特色をいかした取組

各部会の重点課題

知育	学力向上	学んだことを伝えよう(ノート検定)
特別支援教育	特別支援教育	自分や他の人の良さを見つけてよう・伝えよう
徳育	道徳教育	他校の友だちと交流し、友達の良さに気づいたり友達の輪を広げたりしよう
キャリア教育	キャリア教育	自分や友達の良さ、地域の良さを発信し、地域の人とつながりをもとう
健康維持体力向上	健康維持体力向上	メディアの使い方を考え、健康の維持・増進のために積極的に行動しよう(ノーマディアデー)
安心安全	安心安全	メディアと正しく付き合おう(正しい使い方とルール作りを家族と一緒に)
地域連携	地域連携	はじけるスマイルあいざつ運動(里帰りあいざつ運動)



「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】

1人1台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、新しい時代の学校施設の在り方を議論

第1章 新しい時代の学びの姿

(1) 社会情勢の変化

⇒社会の在り方が劇的に変わる「Society 5.0時代」の到来
⇒新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

(2) 「令和の日本型学校教育」の姿

⇒中央教育審議会において、新しい時代の初等中等教育の在り方を検討
⇒教育再生実行会議において、ポストコロナ期における新たな学びの在り方を検討

学校のICT環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

(3) 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた改革の方向性

- ・新学習指導要領の着実な実施
- ・9年間を見通した義務教育の在り方
- ・学校における働き方改革の推進
- ・地域社会や関係機関等との連携・協働
- ・GIGAスクール構想、ICTの活用
- ・多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応
- ・少人数による指導体制の整備

第2章 学校施設の課題

(1) 新しい時代の学びへの対応の必要性

●**ポストコロナ時代における学校施設という実空間の役割**
⇒児童生徒にとって安全・安心な居場所を提供するという福祉的機能、社会性・人間性を育む社会的機能を有するなどの学校の持つ役割・在り方を再認識
⇒ポストコロナ時代において、子供たちがともに集い、学び、遊び、生活する学校施設という実空間の価値を捉え直す必要

●**学びのスタイルの変容への対応**

⇒ICTの活用などにより、学級単位で一つの空間で一斉に黒板を向いて授業を受けるスタイルだけでなく、学びのスタイルが多様に変容していく可能性が拡大
⇒空間・時間を超えて、様々な学習リソースに非同期にアクセスして学ぶことができるなど「非同期・分散」した学びのスタイルが広がり、これまでの「同期・集合」した学びのスタイルと往還する場面が展開されていく可能性も拡大

(2)～(4) 学校施設等における現状と課題

- ・これまでの学校施設の計画、教室面積、多目的スペース、空調設備の整備状況 等
- ・防災・減災、国土強靱化、耐震対策・老朽化した施設の実態、維持管理 等
- ・国・地方の財政状況、適正規模・適正配置等の実態、複合化・集約化の状況 等

第3章 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方

新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）

Schools for the Future

「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する

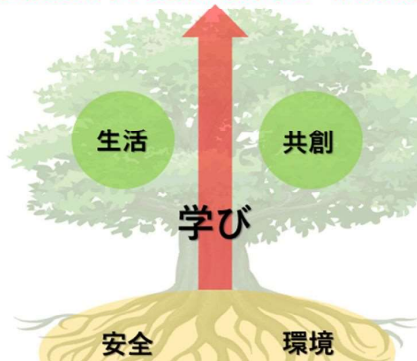
「未来思考」の視点

- ① 学校は、教室と廊下それ以外の諸室で構成されているものという**固定観念から脱し、学校施設全体を学びの場として捉え直す**。廊下も、階段も、体育館も、校庭も、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む場になる。
- ② 教室環境について、**単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な活動に柔軟に対応していく視点（柔軟性）**をもつ。
- ③ 紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていくように、学校施設も、**画一的・固定的な姿から脱し、時代の変化、社会的な課題に対応していく視点（可変性）**をもつ。
- ④ どのような学びを実現したいか、そのためにどんな学び舎を創るか、それをどう生かすか、**関係者が、新しい時代の学び舎づくりのビジョン・目標を共有する**。

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿

「未来思考」をもった上で、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、**これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿**を示す。

新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『**学び**』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『**生活**』『**共創**』の空間を実現する。

また、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『**安全**』『**環境**』の確保を実現する。

学び

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、**柔軟で創造的な学習空間を実現**

- ⇒1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
- ⇒個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
- ⇒教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

（教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例）



1人1台端末環境等に対応したゆとりある教室の整備



多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応



ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用

生活

新しい生活様式を踏まえ、**健やかな学習・生活空間を実現**

- ⇒居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
- ⇒空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

共創

地域や社会と連携・協働し、**ともに創造する共創空間を実現**

- ⇒地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
- ⇒地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共有化等

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

安全

子供たちの生命を守り抜く、**安全・安心な教育環境を実現**

- ⇒老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
- ⇒避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

環境

脱炭素社会の実現に貢献する、**持続可能な教育環境を実現**

- ⇒屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
- ⇒環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

新しい時代の学びを実現する空間イメージ例（未来思考の視点を含む）

これからの学校施設は、新しい時代の学びを実現していくことを基本とし、それらを具体化する施設環境を創造していく



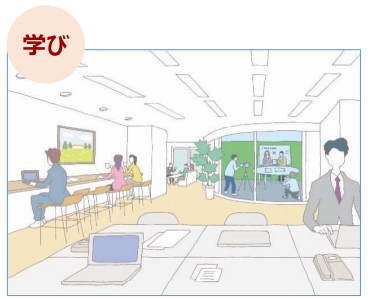
学び
単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿



学び
学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・commons」としていく姿



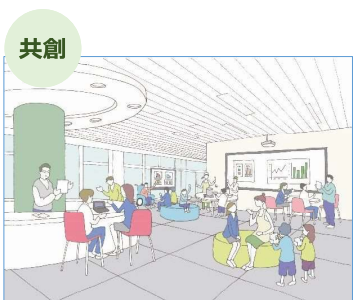
学び
教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿



学び
映像編集やオンライン会議のためスタジオ、情報交換や休息ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿



生活
木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿



共創
地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿



安全
長く使い続けることができるように安全性を確保し、子供たちの学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点としていく姿



環境
省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

第4章 学校設置者における推進方策

今後も増加する膨大な老朽化施設の現状等を踏まえ、教育環境向上と老朽化対策を一体的に図る長寿命化改修等を積極的に推進していくことをはじめとした具体的な方策を提言

(1) 長寿命化改修を通じた、新しい時代の学びを実現する教育環境向上と老朽化対策の一体的な推進

- 安全・安心な教育環境を確保しつつ、新しい時代の学びを実現していくため、長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備を積極的に推進

(2) 首長部局と協働した、中長期的視点からの計画的・効率的な整備の推進

- 教育委員会と、まちづくり部局や財政部局、環境部局、防災部局等の首長部局との横断的な検討体制を構築
- 中長期的な将来推計を踏まえ、計画的・効率的な施設整備を推進（将来変化に柔軟に対応できる施設、将来的な他用途への転用、複合化・共用化等）

(3) 多様な整備手法等の活用と、施設整備と維持管理の着実な推進

- PPP/PFI手法を含め、民間活力を活用した施設整備・維持管理を積極的に推進
- 計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」型の管理へと転換

(4) 学校関係者等の参画による豊かな学びの環境整備の推進

- 学校施設の計画・設計において、学校設置者と設計者だけでなく、新しい学びの担い手である学校の教職員など関係者が参画した施設づくりを促進、プロポーザル方式の導入推進等

第5章 国における推進方策

新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を着実に進めるための具体的な方策を提言

(1) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）の提示

- 2020年代を通じて目指す、新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性を目標水準として整理

(2) 教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の事例収集・分析

- 長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策を一体的に整備している好事例について、ボトルネックとなる課題の解決策とあわせて積極的に周知

(3) 学校施設整備のための財政支援制度の見直し・充実

- 安定的・継続的な予算確保
- 国庫補助単価を含めた財政支援制度の更なる見直し・充実

(4) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の技術的支援の充実

- 学校施設整備・活用のためのプラットフォームを構築（事例・ノウハウの発信、専門家派遣等）
- 先導的モデル研究等を通じた新たな学校施設モデルの提示

(5) 学校施設整備指針の改訂

(6) 普及啓発、適切なフォローアップと更なる調査研究等の実施

子供たちにとって「明日また行きたい学校」となるために、そこに集う人々にとっても「生き生きと輝く学校」となるために

第1回ワークショップ・子どもワークショップ 意見抜粋

目指す学園像	
第1回	チャンスを与える学校
	学校に活気がある
	(イメージとしては) 大和町民立学校
	自分や友達を大切にする子どもに！！
	新と旧(昔)の融合
	小中それぞれの独立性もいる
	あいさつがいっぱい 明るい
	毎日、学校に行きたいと思える
	いろいろな年齢の考え方を知ることができる
	失敗が温かく許容される学校
子ども	授業が楽しい学校
	笑顔があふれている学校
	不登校が起こらない学校
	笑顔があふれる学校
	いじめがない学校
	ボランティアの手伝いをたくさんする学校
	上下関係がはっきりしている学校
	動物にやさしい学校
	おじいちゃん、おばあちゃんにあいさつをする学校
	学校の伝統が受け継がれている学校
	最高の勉強空間

小中一貫	
第1回	中学生が小学生に教える時間づくり
	小学生と中学生の合同授業
	中3が小学1・2年のお世話に
子ども	小学校と中学校の交流あり！！(たくさん)
	小中学生で仲良く遊べる
	休み時間に小学生と交流できる！
	中学生が小学生に勉強を教える
	体育は小中合同

学習活動	
第1回	塾の併設（英語・ピアノなど）
	運動をしたくなるような魅力的な遊具・器具がある学校
	つめ込み教育ではなく、主体的に学べる！！
	放課後の有効化
	英語づけ
	上の子が下の子の学びを支える学校
	作物を育てられる
子ども	クラスは自分たちで決める
	すきなことが学べる時間
	勉強が教え合える
	一年に何回か全校遊び
	授業がおもしろい学校
	野外学習を増やす
	水泳を増やす
	授業を選べる

通学・交通	
第1回	コミュニティバス
	公共機関が集約できる位置
	スクールバスをもって通学・校外学習に自由にいける
	地域の見守りの充実
子ども	登校は車でも
	学校から習い事に行ける
	スクールバスがある
	みんな徒歩
	行き方が自由な学校

自然	
第1回	自然とふれ合えるスペース
子ども	緑に囲まれた自然がある学園
	自然を生かした活動ができる学校

施設・設備	
第1回	小1～中3までが集まれる場所
	温水プール
	可動式のいろいろ
	広い空間でゆったり学べる
	男女制服同じにする
	小中一緒のランチスペース
	明るく立派な図書館
	和の体験のできるスペース（和室など）
子ども	グラウンドが天然しば
	プール、グラウンド、体育館、武道場が大きくなる
	寝る部屋がほしい
	床はカーペット
	いろんなところで本が読める
	個人で集中して勉強できる部屋がある
	机とこたつが冬はいっしょ
	エレベーターがある学校
	本がたくさんある学校
	エスカレーターがある
	どこでもドアがある
	上靴をはかなくていい
	サッカーゴールがある
	テニスコートがある
	体育館2つ
	理科室が最新
	グラウンドが広く、遊具がたくさんある学校
	廊下があったかい学校
	部屋のドアが自動ドア
	階段の横にスロープがほしい
学校にコンビニあり	
買い物ができる学校	
自動で掃除してくれる	

地域・交流	
第1回	気軽に立ち寄れる
	交流サロン
	販売所がある
	地域住民が自由に過ごせる空間がある
	東荷神舞・石城太鼓を大和全体に
	シェアキャンパスのような、色んな世代の人でもそれぞれの学びができるといい
	幼保との交流
子ども	地域とのかかわりが多い学校
	地域の人との交流がいっぱいある学校
	おじいちゃん、おばあちゃんといっしょにいる

部活動	
第1回	部活が増える
	部活（でなくても）サークルでも興味ある活動ができる
子ども	小学から部活
	部活の種類がいっぱいある
	好きな部活を作ることができる学校
	部活の朝練ができる

給食	
第1回	好きな場所で給食が食べられる
子ども	ひろい食堂でみんなでお昼！
	自分で料理できる
	食堂がある学校
	給食が豪華な学校
	給食が三ツ星シェフ
	給食を自分たちでつくる
	給食が選べる学校
	給食がバイキング

I C T	
子ども	黒板がなくて、テレビで授業
	体育がVRになる
	教科書がなくなり、すべてIpadなどで行うようになる
	ノートがパソコン
	先生がAI
	通信制の学校
	家でも授業を受けることができる
	黒板がスクリーンになる

時間	
子ども	チャイムがない
	昼休み時間が1時間ほど
	登校時間を遅くする
	秋休み
	遊ぶ時間がたくさんある
	来る時間いつでもいい

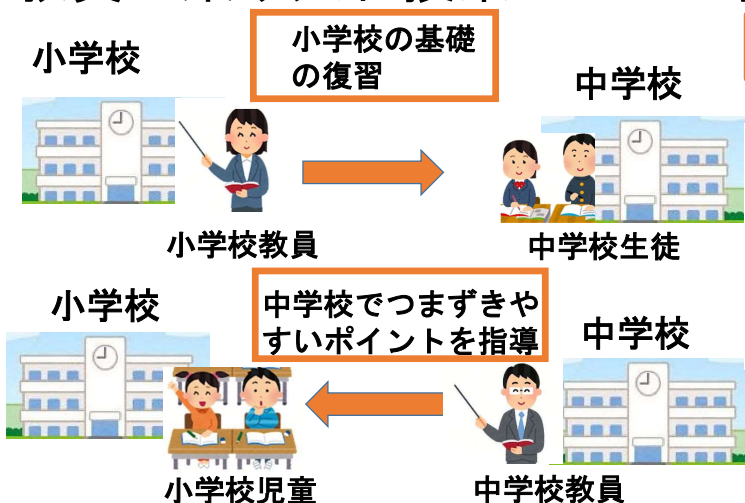
自由・遊び	
子ども	カラオケが出来る
	学校のとなりにゲームセンター
	1階にマクドナルド
	生き物を飼う
	動物がいる学校
	スマホOK
	宿題が少ない学校
	うさぎ、ハムスター、いろいろな動物がいる学校
	私服OK
	ショッピングセンターがとりにある
	キャンプができる
	おしゃれができる
	サッカーやりほうだい
	虫がたくさんいる学校
	水泳の授業がない
秘密基地がほしい	

やまとの地域資源を活かした 特色ある取組のソウゾウ

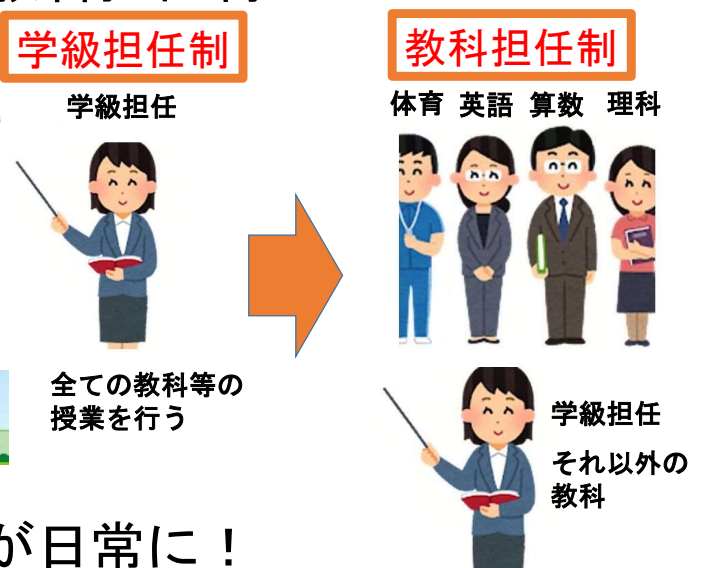
～やまとの強みを活かす学園の未来のために～

施設一体型で広がる小中一貫教育（学習）

教員の乗り入れ授業



教科担任制



施設一体型になることでこれが日常に！

施設一体型で広がる小中一貫教育（交流）



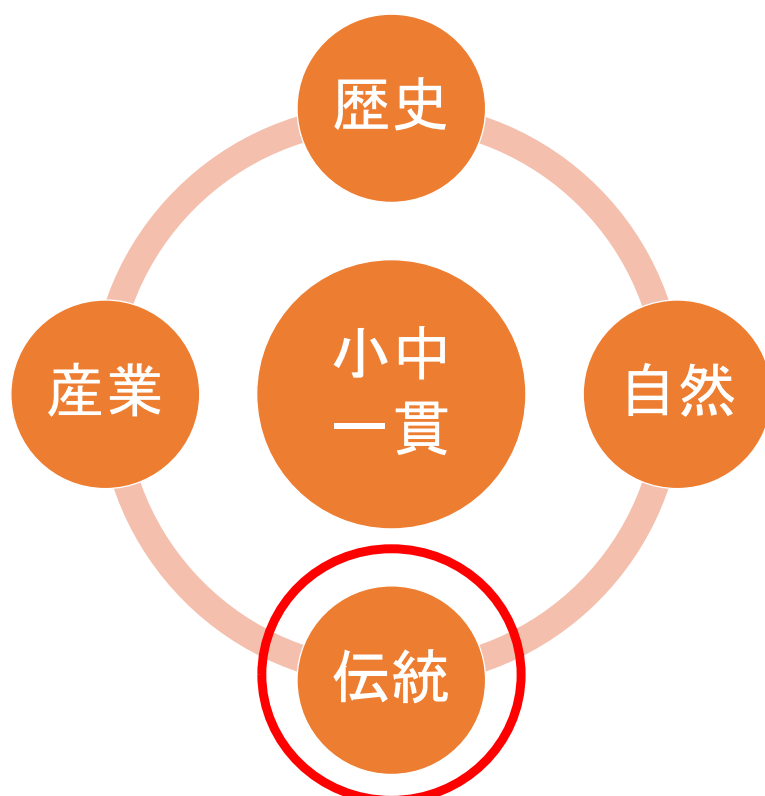
小学生は中学生に
憧れ



中学生は上級生としての
責任感を自覚

やまとの特色

- 特色 1 学校が文化交流の拠点
- 特色 2 地元の産業を活かした教育
- 特色 3 地域の偉人を題材にした学習
- 特色 4 豊かな自然を活かした学び

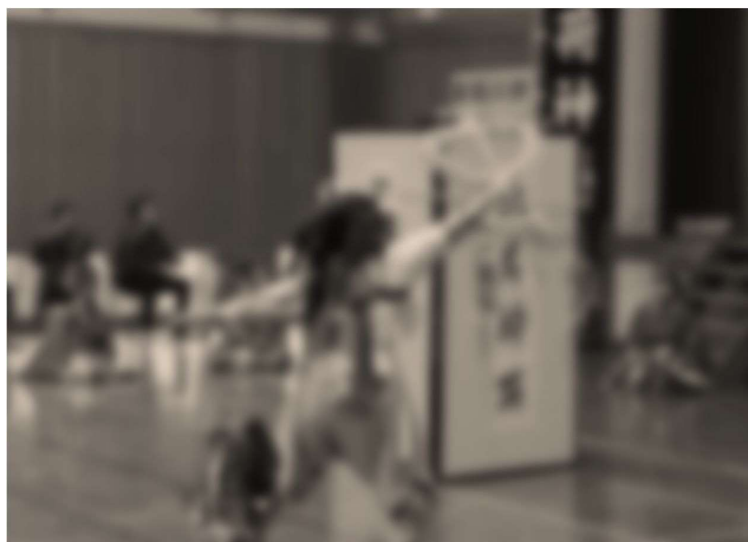


特色 1 学校が文化交流の拠点

石城太鼓



東荷神舞



やまと学園全体で文化継承を

継承



保存



発信



特色2 産業（農業）を活かした教育

前期



農業に親しむ

中期



栽培を学ぶ

後期



加工過程を学ぶ

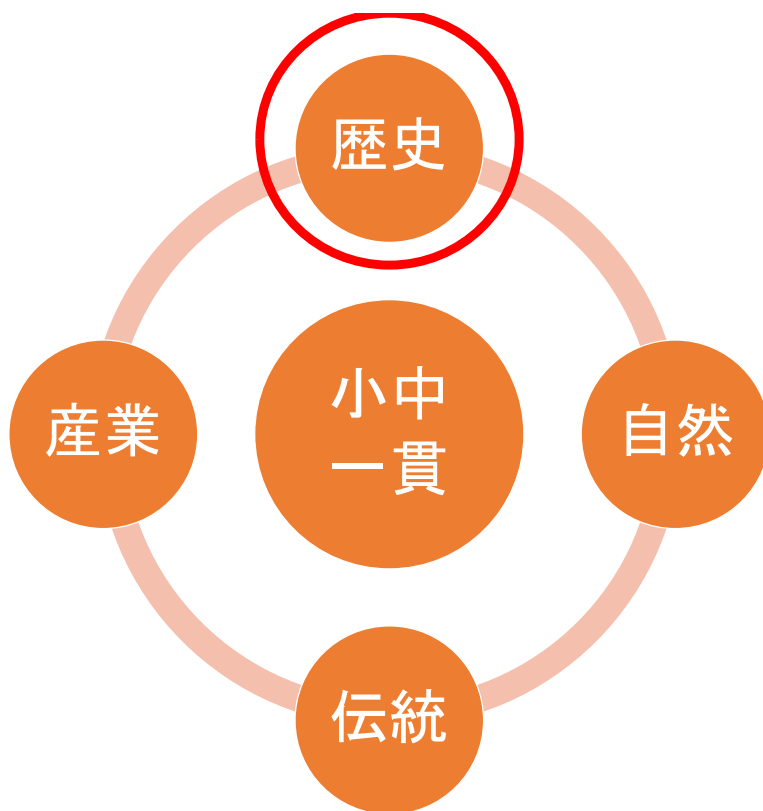
9年間の系統的な学びへ

特色2 産業（農業）を活かした教育



6次産業化





特色 3 地域の偉人を題材にした学習

9年間で深まる理解



知る



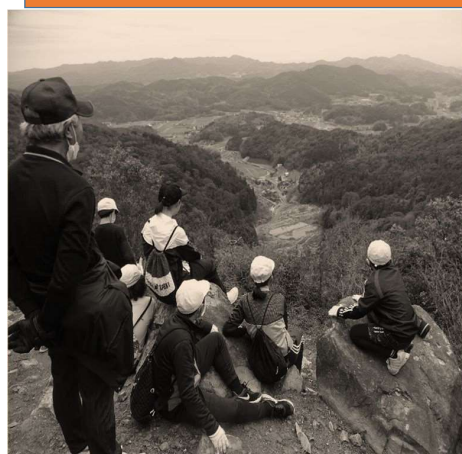
学ぶ



発信する



特色 4 豊かな自然を活かした学び



探訪する



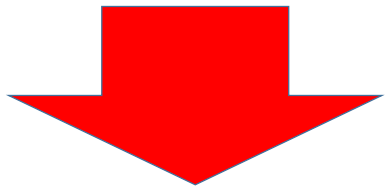
体験する



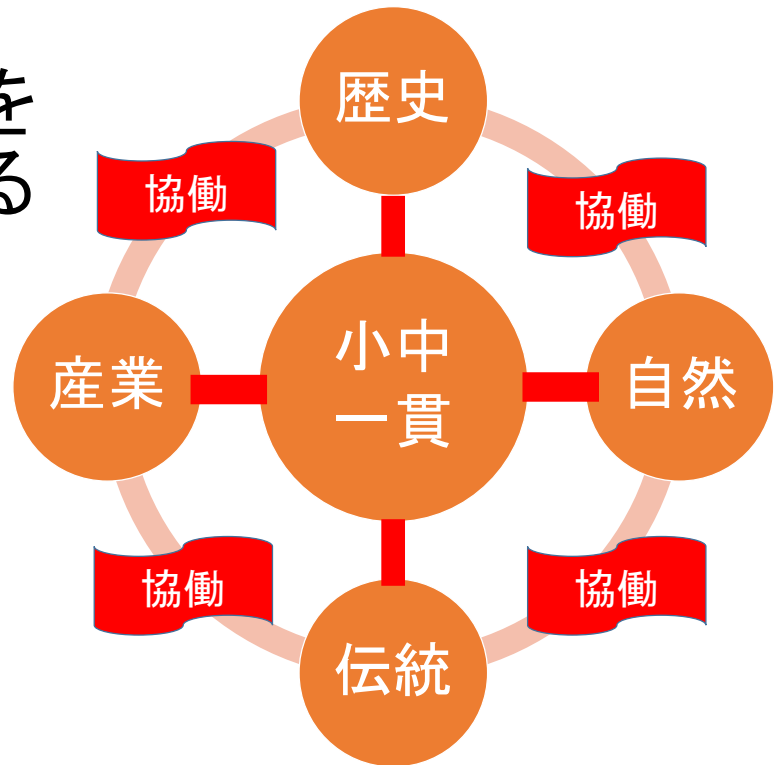
観察する

地の利を活かした学習

このような特色を
さらに飛躍させる



地域の皆様
との協働



協働の視点による更なる可能性

例えば ドローン技術を活用した
産業の高度化に関する学習

地域の方

産業教育

新たな時代の
先駆者へ



協働の視点による更なる可能性

例えば 放課後の過ごし方

地域の人々の活躍の場

大人の学びの場

子どもの居場所



協働の視点による更なる可能性

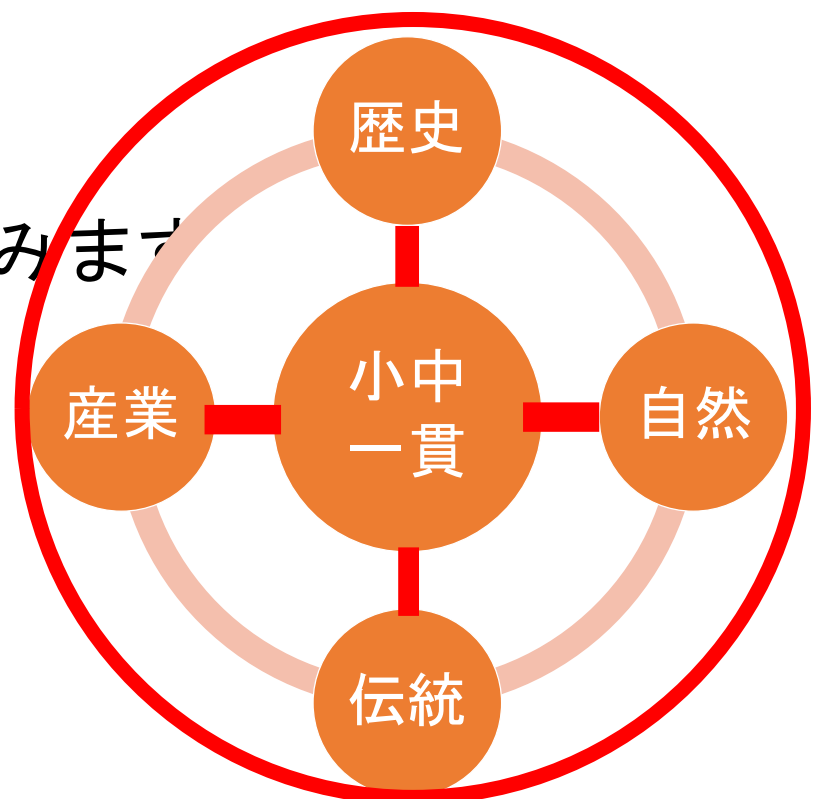
例えば コミュニティスペース

地域の縁側

芸術の相互体験



地域の皆さんとの
協働を通して
ますます夢が膨らみます



新しい学校へ



新しい学校へ



新しい学校へ



新しい学校へ



より良い学校にするために

一人の力



限界

みんなの力



豊かな意見

より良い学校にするために

夢いっぱい 학교를

